

常任委員会派遣調査報告
(田代平ウインドファーム・
鹿角市個体処理場)

産業建設常任委員会では市内2カ所について派遣調査を行いました。

初めに市内で稼働する田代平ウインドファームを視察し、運営状況や安全対策について説明を受けました。同発電所は2001年に県内で初めて運転を開始したもので、ベスタ社製9基により年間約1500万キロワットアワーを発電し、一般家庭約4400世帯分に相当する電力を供給しています。



田代平ウインドファーム

現在、24年を超えて稼働しており、先行モデルとしてのデータ蓄

積も進められているとのことでした。

現地では風切り音やフリッカーの状況、落雷・火災対策などを確認しましたが、いずれも業者により、適切に管理されている状況でした。

続いて、鹿角市個体処理場を視察し、施設概要と処理工程の説明を受けました。昨年度は熊の出没増加により191頭を処理し、市内捕獲数の約6割を占めています。



鹿角市個体処理場

施設内は、衛生管理や排水処理も適切に行われており、主に大湯・十和田地区の個体が搬入されているとのことであり、一方、搬入されない個体については猟友会により現場等

で解体され、残渣は埋立てと石灰散布により処理されています。

全員協議会

去る6月25日、本市における学校再編について、執行部より説明を受けるため、全員協議会を開催しました。

議員からは、小中それぞれ一校にする案に対し、他の選択肢はなかったかの質問、現在問題となっている部分への今後の対応などの質問、統合後の通学支援に関する質問、小中学生の地域行事への参加に対する今後の対策への質問等が出されました。

また、意見として、小中学校の統合はやむをえないが統合の過程にあたり、当事者である生徒の保護者等若い世代への説明をしっかりととしてほしいという意見、学校を統合していく中で、本市ならではの独自性を持った学校となるようにしてほしい等の意見も出されております。

119番映像通報システム
研修を行いました。



映像通報システムの説明を受ける議員

鹿角広域行政組合消防本部より今年5月25日より運用を開始した119番映像通報システムについて説明を受けました。

このシステムは通報者が撮影した映像を消防に送信する通報の新しい仕組みで、映像が通報者のスマートフォンから消防本部指令センターへ共有されることで言葉では伝えづらい災害現場の状況を明確に伝える、応急手当の指導を行えるようになる等の利点があります。

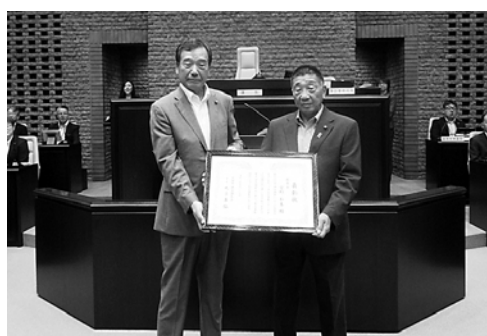
説明を受けた後、実際に119番映像通報

システムを体験し、システムへの理解を深めました。

今後このシステムの活用により、災害現場での迅速な救助・応急処置につながることを期待されます。

議員永年勤続表彰

全国市議会議長会102回定期総会において宮野和秀議員が25年にわたり、市政の振興に尽くされた功績により特別表彰され、定例会最終日の6月25日に表彰状の伝達が行われました。



議員永年勤続表彰を受賞した宮野和秀議員(写真右側)